

平成26年度 地域発 元気づくり支援金 【北信地域】 選定事業一覧表

(平成26年5月2日現在)

| No. | 事業区分 | ソフト・ハード | 事業名 | 申請者 | 事業内容 (主な用途 ①:ソフト事業 ②:ハード事業) | 総事業費(千円) | | 支援金内定額(千円) | 重点テーマ区分 |
|-----|-------------------|---------|------------------------------|---------------------|--|----------|----------|------------|---------|
| | | | | | | | うち支援金要望額 | | |
| 1 | 地域協働の推進 | ハード | 手づくり農村支援事業 | 中野市 | 農業農村整備の推進を図るとともに、農村の自立を促す契機とすることを目的に、地域住民が発意し、施設管理者、農家、地域住民が協働して行う土地改良施設の補修・整備の直接施工や維持管理活動を支援する。 ②農道のコンクリート舗装や水路整備に係る原材料の支給等 農道舗装9地区(7,800千円)、水路改修1地区(750千円) | 8,550 | 4,275 | 3,420 | |
| 2 | 教育、文化の振興 | ソフト | 唱歌「故郷」「朧月夜」誕生100周年記念事業 | 中野市 | 「故郷」「朧月夜」誕生100周年を機に、バラまつり関連イベントとして音楽交流による新たなまちづくりに繋げるため「童謡・唱歌のふるさとアンサンブルフェス」を開催する。 併せて、中野市出身の高野辰之の足跡を再認識し、その功績と「故郷」「朧月夜」などの唱歌を広くアピールするための記念祭を開催する。 ①アンサンブルフェス開催経費(3,345千円)、高野辰之記念祭開催経費(527千円) | 3,873 | 2,146 | 2,146 | |
| 3 | 地域協働の推進 | ハード | 協働のむらづくり事業 | 飯山市 | 住民(区)と市が協働して、農林業用施設(農道・林道・水路)を整備することにより、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高める。 また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図る。 事業実施予定37箇所、うち支援金対象:農林道舗装等11箇所、水路改修9箇所 ②原材料購入費(7,900千円) | 7,900 | 4,022 | 3,218 | |
| 4 | 地域協働の推進 | ハード | 地域協働で農業に活力を与えるための施設整備(農道舗装) | 山ノ内町 | 地域住民が自立的に実施する農道舗装に原材料支給等で支援することにより、通行の安全確保、果実運搬時の荷痛み減少を図り、高齢化や後継者不足に悩む農業への生産意欲の向上と安定した農業経営につなげる。 また、協働作業を通じて住民同士の交流、農道管理意識の向上を図る。 ②農道舗装3地区 原材料費(1,792千円)、重機借上料(385千円)、広報表示、看板作成費(46千円) | 2,223 | 1,111 | 889 | |
| 5 | 環境保全、景観形成 | ソフト | メエメエ草刈り隊事業 | 木島平村 | 25年度主要地方道飯山・野沢温泉線の樽川橋ポケットパーク周辺の堤防沿いで本事業を実施したところ、駆除の効果もさることながら、牧歌的な風景が話題を呼んで新聞、テレビ等を通して情報発信されたため、大きな反響があった。 26年度は木島平スキー場等の観光スポット入口となる農産物直売所周辺に場所を移し、本施設のPRや魅力アップにつなげていく。 ①柵(178千円)、損害保険(48千円)、餌(20千円)、小屋移設費(300千円) | 557 | 446 | 446 | 協働 |
| 6 | 地域協働の推進 | ハード | 手づくり農道舗装等事業 | 野沢温泉村 | 農業従事者が高齢化する中、農山村景観の保全と農用地の荒地地化防止を図るため、農作業の労力を軽減と生産意欲の向上、農用地の流動化を目指し農家・非農家が協力で自らが行う農道舗装等に対し、村が原材料を支給する。 ②農道舗装4箇所、林道舗装2箇所、水路補修1箇所 原材料(砕石、コンクリート、マシユ)支給(3,248千円) | 6,592 | 4,393 | 3,515 | |
| 7 | 地域協働の推進 | ハード | 農地等国土保全事業 | 栄村 | 農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②原材料支給:農道舗装等4箇所(889千円)、水路等改修4箇所(961千円) | 1,851 | 802 | 642 | |
| 8 | 商業の振興 | ソフト | 中野陣屋・県庁記念館周辺イルミネーション装飾事業 | 中野陣屋光と音のシンフォニー実行委員会 | 中野陣屋・県庁記念館を中心に地元高校生と協力してイルミネーションの装飾を行い、併せて地元の音楽家によるコンサートの実施や商店会と共催でワンコインセールなど実施することで、中心市街地の活性化を図る。 ①イルミネーション購入費(3,564千円)、ミニコンサート出演料(240千円)、広告宣伝費(165千円) | 4,030 | 2,980 | 2,980 | |
| 9 | 商業の振興 | ソフト | ワンコインセール事業 | 中野市商店会連合会 | 個店が経営体力をつけるためには、顧客にとって魅力ある商品やサービスを作り出すことが必要不可欠である。 そこでやる気のある店舗が連携してある一定期間、500円(ワンコイン)で魅力ある商品やサービスを企画し、提供する「ワンコインセール」を行う。 ①印刷費(241千円)、のぼり旗制作費(116千円)、折込費(77千円) | 440 | 300 | 300 | |
| 10 | 地域協働の推進 | ソフト | 「ばら」を題材とした特産物を使った地域活性化イベント事業 | 中野青年会議所 | 地域ブランドとして定着した「ばら」を題材にした特産物を開発するため、「ばらからきた」を制作する。バラまつり期間中に地元小学生を中心に読み札の募集を行い、制作したものは地域を学ぶ教材として全小学生に配布する。 ①ばらからきた制作費(1,419千円)、審査経費(73千円)、ジャンボばらからきた大会開催経費(35千円) | 1,635 | 1,226 | 1,226 | |
| 11 | 保健、医療、福祉の充実 | ソフト | 「お父さんの読み聞かせ」講演会と実践発表 | おはなし♡びっくりに(おとこぐみ) | 父親の子育て参加の具体的な取り組みの一つとしてお父さんによる読み聞かせがある。読み聞かせは子どもにとっても父親にとっても大変有意義なものであり、読み聞かせを通じた父親の子育て参加を促すために、講演会と実践発表会を開催する。 ①講師謝礼(355千円)、印刷製本(147千円)、絵本(50千円) | 600 | 450 | 450 | |
| 12 | 地域協働の推進 | ソフト | 第23回ばら制定都市会議(ばらサミット) | 第23回ばら制定都市会議実行委員会 | ばらによるまちづくりを行っている全国22団体で組織している「ばら制定都市会議」(通称ばらサミット)を26年度中野市で開催することとなった。今回は構成自治体相互の情報交換に留まらず、地域住民も参加し、より多くの人々にばらによるまちづくりの取り組みを知ってもらうため「なかのバラまつり」にあわせて開催する。 ①サミット運営費(6491千円)、産業振興、雇用拡大費(208千円) | 6,700 | 4,133 | 2,633 | |
| 13 | その他(産業の振興及び雇用の拡大) | ハード | 地域特産物冷凍食品加工事業 | 中野市豊田農産物加工施設利用組合 | 地域で生産された野沢菜、ぼたんこしょう、キノコ、大根、かぼちゃなどを使用した「おやき」を年間通して製造販売しているが、今後更なる販路の拡大や安定的な食育教育を実施するため、製造した「おやき」や「具材」を急速冷凍し、冷凍食品化するための凍結庫及び冷凍庫を購入する。 ②凍結庫(1,544千円)、冷凍庫(675千円) | 2,219 | 1,479 | 1,479 | |
| 14 | 特色ある観光地づくり | ソフト | 信越9市町村広域観光連携事業 | 信越9市町村広域観光連携会議 | 25年度はエリア名「信越自然郷」や認知度の低い「北陸新幹線飯山駅」のPRを集中的に実施してきた。26年度は開業年度を迎えるため、開業機運を高めるためのイベント、県外でのキャンペーン、地域イベントでのPRや地域を担う中心的人材の育成に力を入れ、開業に向け最後の追い込みを行う。 ①開業前イベントやキャンペーンの実施(8,500千円)、プロモーションの実施(3,000千円)、エリアマネジメント人材育成(500千円)、おもてなし研修会の開催(500千円)、お土産品の研究、開発(300千円) | 25,500 | 10,000 | 10,000 | 協働 |

| No. | 事業区分 | ソフト・ハード | 事業名 | 申請者 | 事業内容 (主な用途 ①:ソフト事業 ②:ハード事業) | 総事業費(千円) | | 支援金 内定額 (千円) | 重点 テーマ 区分 |
|-----|--------------------|---------|------------------------------------|----------------------|--|----------|--------------|--------------------|-----------------|
| | | | | | | | うち 支援金要望額 | | |
| 15 | 教育、文化の振興 | ソフト | 長野県教育におけるスノースポーツ活性化事業 | 北信州スノースポーツ活性化協議会 | 過去3年、子供達へのスノースポーツの普及と教職員向けの指導用教材の作成及びスキー・スノーボード大会の開催を行い、北信地域におけるスノースポーツ再興に向けた取り組みを行ってきた。 26年度は北信地域での取り組みを全県に広げるため環境整備を行々とともに、引き続き教職員向けのスノースポーツ講習会を開催する。 ①博物館見学研修費(360千円)、教職員スキー・スノーボード講習会開催経費(1,552千円) | 2,092 | 1,434 | 744 | |
| 16 | 地域協働の推進 | ソフト・ハード | 斑尾ジャズ2014 | ふるさとのジャズ交流祭実行委員会 | 26年で8年目を迎える「斑尾ジャズ2014」は、北陸新幹線飯山駅開業前のプレイベントと位置づけ、「飯山駅」「信越自然郷」を大きくPRするイベントとするため、インターネット放送局を開局し、全国・世界に向けてイベントの様相をライブ中継する。 また、併せてスポンサー撤退に伴う機材等を整備する。 ①舞台照明謝金(210千円)、司会者謝金(160千円)、告知費(250千円) ②アンプ(322千円)、ドラムセット(294千円)、テント(1,639千円) | 6,367 | 2,188 | 1,314 | |
| 17 | 地域協働の推進 | ソフト | 北陸新幹線飯山駅プロジェクト | 北陸新幹線飯山駅プロジェクト実行委員会 | 開業200日前の2014年夏に、他には例のない注目度の高いPRイベントとして「新駅での3Dプロジェクトマッピング」を観客参加型で実施し、マスメディアやSNSを通じて「飯山駅」「信越自然郷」を全国・全世界へ向け情報発信する。 ①映像機器(5,657千円)、音響機器(322千円)、機材電源(459千円)、市民運営(1,147千円) | 7,500 | 6,000 | 4,166 | 協働 |
| 18 | その他地域の元気を生み出す地域づくり | ソフト・ハード | ぶらっと「ぶらり広場」元気づくり事業 | (公社)飯山地域シルバー人材センター | 街の中心に位置する空き店舗を改装し、会員と地域住民・観光客との交流の場を設置し、高齢者・子育て世代・子供向けの講習会を開催する。 また、商店街のイベントでは軽トラ市を開催し、商店街の人たちと協力して商店街の活性化につなげていく。 ①講師謝金(89千円)、パソコン(98千円)、プリンター(32千円)、マシン(34千円)、スリーブ等(411千円) ②改装費一式(160千円) | 1,482 | 641 | 641 | |
| 19 | その他地域の元気を生み出す地域づくり | ソフト | 野沢温泉村・木島平村・飯山市をコースとした北信州ハーフマラソンの開催 | 北信州ハーフマラソン実行委員会 | 北陸新幹線飯山駅開業を記念する地域住民参画型の「マラソン大会」を開催し、地域の連携を深め、地元機運の醸成を図る。また、県外からの大会参加者に対しては北信州の魅力アピールするきっかけとする。 なお、26年は県外参加者の比率を高め信越自然郷を広くPRし、大会運営への地元住民の積極的な参画を強化していく。 ①スタート・ゴール設営(3,888千円)、医師等報償費(3,180千円)、タイム計測等レース関係費(4,719千円)、広告宣伝費(2,052千円)、参加案内等管理費(2,284千円) | 16,124 | 2,500 | 2,500 | |
| 20 | その他地域の元気を生み出す地域づくり | ソフト | 信越自然郷・五高原ロングライド2014 | 信越自然郷・五高原ロングライド実行委員会 | 26年で5回目を迎える2014年大会では、北陸新幹線飯山駅開業と「信越自然郷」を大きくPRするとともに、今後開業後に見込める外国人誘致対策や、自転車を電車で移動する「輪行」の啓発等を行う。 ①英語表記看板制作費(712千円)、HP作成、JR広告費等(1,841千円) | 4,617 | 1,267 | 1,267 | |
| 21 | 環境保全、景観形成 | ソフト・ハード | 奥志賀高原リンドウの丘整備事業 | 奥志賀高原常会 | 25年に整備した遊歩道沿に地元中学生といっしょに「リンドウ」の移植を行うとともに、専門家を招いて奥志賀高原の自然に関する研修会を開催し、奥志賀高原の更なる魅力アップを図る。あわせて昨年10月の台風で流失した奥志賀溪谷散策路木橋の補修も行い、奥志賀高原の自然を満喫できる環境整備を行う。 ①ロープ、ロープ杭(34千円)、案内看板(95千円)、ベンチ(70千円)、チラシ(207千円) ②フトンかご及び木板搬入一式(626千円) | 1,091 | 765 | 765 | |
| 22 | 特色ある観光地づくり | ソフト | 志賀高原ロングライド | 山ノ内町エコツアー実行委員会 | 26年6月志賀高原は従来のユネスコエコパーク核心エリア及び緩衝エリアに加えて、周辺地域を新規緩衝エリア、移行エリアに変更承認を受ける予定であることから、国際的な称号「志賀高原ユネスコエコパーク」を広く全国に向けてアピールするため、サイクリングイベント「志賀高原ロングライド」を開催する。 ①看板制作(421千円)、スタッフジャンパー(349千円)、告知費用(615千円) | 7,040 | 1,040 | 1,040 | |
| 23 | 環境保全、景観形成 | ソフト・ハード | 志賀高原ユネスコエコパーク 連池外来種駆除事業 | 志賀高原観光協会 | 26年9月に開催予定の国内初のユネスコエコパーク全国大会の主会場となる連池周辺は外来植物に覆いつくされ、昔の姿をとどめていない危機的状況であることから、地域住民総出で連池から外来植物を除去し、景勝地景観を維持する。 ①ウエーター(200千円)、廃棄物撤去費用(488千円) ②深部の駆除作業工事(4,095千円) | 5,294 | 3,314 | 2,401 | |
| 24 | 農業の振興と農山村づくり | ハード | 山ノ内町そばのブランド化推進事業 | 山ノ内町そば生産振興組合 | 25年度に策定した「須賀川地区集落再熟ビジョン」の中では、確立されたブランドである「須賀川そば」に磨きをかけ、品質の高いそばを使用した特産品開発を行うことが地域活性化の大きな鍵となると位置づけている。そのため、生産体制の再構築を行い、栽培面積の規模拡大に伴う必要な機械類を整備する。 ②コンバイン(5,259千円)、乾燥調整機(2,595千円) | 7,854 | 5,236 | 4,606 | |
| 25 | その他(産業の振興及び雇用の拡大) | ソフト・ハード | 木島平のコメ文化伝承事業 | 木島平のコメ文化伝承事業実行委員会 | 本事業は平成22年から継続的に実施している事業で、従来実施主体は村や観光協会であったが、村全体が盛り上がる村民主役のイベントとするため、2月に住民主体の実行委員会を組織した。 今回住民からのアイデアで、従来の早乙女による田植えに加え、野良着衣装の農民行列などを実施するとともに、イベント参加者に「信越自然郷」や「飯山駅」をPRしていく。 ①イベント経費(大八車60千円、野良着衣装100千円、楽団謝金150千円、広告費100千円、クリーニング代200千円) ②笙(270千円) | 980 | 712 | 353 | |
| 26 | その他地域の元気を生み出す地域づくり | ソフト・ハード | 音楽で木島平を活気づけよう! | 木島平村ファンファレ隊 | 25年木島平消防団ラッパ隊が北信地区ラッパ吹奏大会で優勝したことをきっかけとし、消防団OBが中心となって村内から有志を募り、音楽で村を活気づけることを目的とした「木島平村ファンファレ隊」を結成。これを機にユニフォームや必要最低限の楽器を購入し、活動に弾みをつける。 ①衣装代(259千円)、PR費(16千円)、トランペット(217千円)、ドラムセット(90千円) ②トロンボーン(178千円)、チューバ(322千円) | 1,262 | 889 | 500 | |
| 27 | その他(産業の振興及び雇用の拡大) | ソフト・ハード | 玄米粉「米っふる」で身体も村も元気にしよう!プロジェクト! | なちゆるるスイーツ | 木島平産の米、特に玄米を使った商品開発を行い、モニターテストを重ね、北陸新幹線飯山駅開業を見据え木島平村の特産品に育てていく。 ①調理器具、真空パックシーラー等企画商品開発費(427千円)、発電機、のぼり旗、ユニフォーム等モニターテスト経費(244千円) ②ワッフルペーカー(300千円) | 971 | 703 | 350 | |
| 28 | 教育、文化の振興 | ソフト | 日本の伝統芸能に学ぶ事業 | 飯水岳北教育長会 | 25年度野沢温泉村で実施した尺八、琴、能を通した伝統文化の理解教育が生徒・保護者・教員等から好評だったことから、岳北管内の小中学校で試行的に実施し、将来的には合同で発表会や演奏会を行うなど地域間交流につなげていく。 ①尺八演奏会経費(講師謝金・旅費1052千円)、能演奏会経費(講師謝金、旅費556千円)、練習用尺八(270千円) | 1,878 | 1,408 | 1,126 | |

| No. | 事業区分 | ソフト・ハード | 事業名 | 申請者 | 事業内容 (主な用途 ①:ソフト事業 ②:ハード事業) | 総事業費(千円) | | 支援金 内定額 (千円) | 重点 テーマ 区分 |
|-----------|-------------------|---------|-------------------------|-----------------|---|----------|--------------|--------------------|-----------------|
| | | | | | | | うち 支援金要望額 | | |
| 29 | その他(産業の振興及び雇用の拡大) | ソフト | 北陸新幹線飯山駅開業に伴うメディアトリップ事業 | 合同会社野沢温泉観光協会 | 北陸新幹線飯山駅開業の告知と、利用促進を目的に北陸、首都圏のメディア関係者を招き、開業により身近になる北信州エリアを実感していただくとともに、この地域の魅力を体感し、自社の紙面、電波で積極的な情報発信を促す。 ①交通費(300千円)、宿泊費(300千円)、ゴンドラ代(28千円)、マイクロ代(40千円) | 722 | 436 | 436 | |
| 30 | その他(産業の振興及び雇用の拡大) | ソフト | 第88回全日本学生スキー選手権大会受入事業 | 野沢温泉村スキー大会事務局 | 27年2月開催予定の第88回全日本学生スキー選手権大会の開催地が決まらず、野沢温泉村へ開催地受入依頼があった。スキーの競技人口の底辺を拡大するため、大会開催を前提に経費の大幅な見直しを行い、イベント的な部分は極力削り、競技に重きをおいた予算案を作成できたことから、野沢温泉村での開催を決定し、住民参加によるおもてなしで記憶に残る大会とする。 ①ガイドブック作成費(1,188千円)、三角旗(162千円)、横断幕(432千円)、歓迎イベント(25千円) | 1,807 | 1,355 | 1,355 | |
| 31 | その他(産業の振興及び雇用の拡大) | ソフト | 北陸新幹線「飯山駅」開業に伴う地域情報発信事業 | 野沢温泉旅館ホテル事業協同組合 | 北陸新幹線飯山駅開業を一年後に控え、更なる観光地としての魅力アップを図るため「源泉かけ流しキャンペーン」を実施し、併せてアンケート調査を実施することで野沢温泉の改善点を浮き彫りにし、今後の観光地づくりの参考とする。 また、併せて外国人観光客により温泉街を楽しんでもらうための英語版タウンマップを作成する。 ①旅館・ホテル紹介パンフレット(1,026千円)、宣伝費(300千円)、源泉かけ流しPR経費(718千円)、英語版タウンマップ(100千円) | 2,323 | 1,497 | 728 | |
| 32 | 環境保全、景観形成 | ソフト | 山菜ふれあい交流事業 | 月岡生産森林組合笑い声の会 | 原野になった林地を刈払い及び徐伐後、野焼などで再整備を行い、すでにある山菜と植栽などで山菜園を整備し、区民と村外者との交流の場とする。 ①山菜購入費(360千円)、除雪費(300千円)、チップソー(272千円)、丸太杭(59千円) | 1,036 | 777 | 777 | |
| 33 | 地域協働の推進 | ソフト | 秘境秋山郷素朴な観光おもてなし事業 | 信越秋山郷会 | 北陸新幹線飯山駅開業を見据え、津南町、栄村両地域の秋山郷住民が協働し、昔ながらの生活習慣や豊かな自然が残る秋山郷の魅力を旅行者が自ら「秘境」を体験できるためのおもてなしや新たな観光メニューの掘起しを行い、昔からある素朴な観光の振興を目指す。 ①秋山郷総合ガイドブックの作成(1,980千円)、食のコンテスト実施(634千円)、栃の実ホルダー作成(130千円) | 2,903 | 2,177 | 2,177 | |
| 北信地方事務所 計 | | | | | 33 事業 | 146,013 | 72,102 | 60,590 | |